

第 85 回 (2019 年 12 月度) 監査技術ゼミ結果報告<案>

運営委員長 菊谷 純
(文責：松下 洋二)

1. 開催日時 2019 年 12 月 17 日(火) 午後 2 時 00 分～午後 5 時
2. 開催場所 文京シビックセンター5 階 区民会議室 C
3. テーマ グループガバナンスにおける監査役等の留意すべき役割と方法論
～グループ経営失敗事例から学ぶ～
4. 講師 東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科 教授 毛利 正人 氏
5. 出席者 47 名 (内、特別聴講 B 1 名)
6. 配布資料 2019 年 12 月監査懇話会監査技術ゼミ「グループガバナンスにおける監査役等の留意すべき役割と方法論～グループ経営失敗事例から学ぶ～」
2019 年 12 月 17 日 東洋大学教授 毛利正人

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

菊谷運営委員長より開会挨拶と本日テーマ紹介の後、講師の毛利正人氏を紹介された。
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者はなし。

2) 講義

午後 2 時 05 分より 3 時 00 分まで、まずは講師からご自身の職歴等について改めて自己紹介された後、資料に従い、「近時のグループ経営失敗事例の紹介と分析」について丁寧な解説がなされた。

途中休憩を 5 分挟んで午後 3 時 05 分から、同じく資料に従い、講師が「私見（組織的監査体制の重要性）」について提起され、続いて出席会員会友と活発な討議を行った。討議の後、再び資料に戻り、欧米多国籍企業の事例を紹介されて、講義は終了となった。

3) 質疑応答および意見交換等

前述のとおり、講師の「私見（組織的監査体制の重要性）」について、活発な質疑応答と意見交換が行われた。質疑応答と意見交換の主な論点は以下の通り。

- ・ 監査役（監査役会）設置会社と監査等委員会設置会社の比較と選択
- ・ 常勤監査役の必要性（親会社派遣非常勤監査役の限界）
- ・ GRC における監査役の役割（特に執行側のリスクマネジメントと監査役のチェック）
- ・ 常勤監査役が持つべき知見（会計知識等）と姿勢（空気を敢えて読まない姿勢）
- ・ 組織的監査（内部監査部門の指揮と会計監査人との連携）と内部監査が指向する経営監査の整合
- ・ 子会社監査役の位置づけ、および子会社監査役任命権限のあるべき姿

4) 委員長より閉会の挨拶

最後に、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表され、次回監査技術ゼミは翌年 1 月 29 日開催の旨案内した後、閉会となった。

以上